

科目名		特別講義 (Special Lectures)								
学 年	学 科(コース)	単 位 数		必修 / 選択	授業形態	開講時期	総時間数			
第4学年	制御情報工学科	学修	1 単位	必修	講義	通年	45 時間			
担 当 教 員		【常勤】 制御情報工学科 各教員								
学 習 到 達 目 標										
科目の到達目標レベル		企業の工業技術者等を講師として招聘し、先端技術の現状や技術者としての倫理観、高専卒業生の社会的役割への要望などの講演を聴くことである。技術者としての心構えや技術者になるための準備を理解し、自分の進路を考える能力を身につけることを目的とする。 到達目標は、 ①技術者としての社会的役割を理解し、レポートにまとめることができる。 ②技術者としての倫理観が重要であることを理解し、レポートにまとめることができる。 ③先端技術開発の一端に触れることにより、クライアントの要求を解決するための設計解を作り出すプロセスを理解し、レポートにまとめることができる。								
到達目標 (評価項目)		優れた到達レベルの目安		良好な到達レベルの目安		最低限の到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
到達目標 ①		技術者としての社会的役割を理解し、この役割を果たすための知識を身につける努力をすることができる		技術者としての社会的役割を理解し、この役割を果たすための知識を身につける努力の必要性が理解できる		技術者としての社会的役割を理解し、レポートにまとめることができる		技術者としての社会的役割を理解できない		
到達目標 ②		技術者としての倫理観が重要であることを理解し、この倫理観を身につける努力をすることができる		技術者としての倫理観が重要であることを理解し、この倫理観を身につける努力の必要性が理解できる		技術者としての倫理観が重要であることを理解し、レポートにまとめることができる		技術者としての倫理観が重要であることを理解できない		
到達目標 ③		クライアントの要求を解決するための設計解を作り出すことが出来るように、知識の習得を行う努力をすることができる		クライアントの要求を解決するための設計解を作り出すプロセスと、設計解の社会的影響・効果を評価しなければならないことを理解できる		クライアントの要求を解決するための設計解を作り出すプロセスを理解し、レポートにまとめることができる		クライアントの要求を解決するための設計解を作り出すプロセスを理解できない		
学習・教育到達目標		(D)①		JABEE基準1(2)		(d)-(1)				
達 成 度 評 価 (%)										
評価方法 指標と評価割合		中間試験	期末・学年末試験	小テスト	レポート	口頭発表	成果品	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合					100					100
知識の基本的な理解 【知識・記憶・理解レベル】					○					
思考・推論・創造への適用力 【適用・分析レベル】					○					
汎用的技能 【 】										
態度・志向性(人間力) 【 】					◎					
総合的な学習経験と創造的思考力 【 】										

関 連 科 目 、 教 科 書 お よ び 補 助 教 材	
関連科目	制御情報工学セミナー, 制御情報工学実習I,II,III
教科書	使用しない
補助教材等	
学 習 上 の 留 意 点	
講演ごとに提出するレポートによって評価する。 ただし、1テーマでもレポートが未提出の場合は評価の対象としない。 講義の順番やテーマは講師の都合により変わる場合がある。	
担 当 教 員 か ら の メ ッ セ ー ジ	

授 業 の 明 細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	知的財産制度 (特に特許制度)の概要	特許の概要について理解できる。	講演の内容を復習し、 まとめをレポートによ り提出する
2	環境計測の現状	環境計測の現状について理解できる。	
3	電子部品実装の実際	電子部品実装の実際について理解できる。	
4	組込みシステムの開発	組込みシステムの開発について理解できる。	
5	制御と機械の融合と実社会への貢献	制御と機械の融合と実社会への貢献について 理解できる。	
6	高専エンジニアの可能性	高専エンジニアの可能性 (私の起業体験から)について理解できる。	
7	企業が求める人材像について	企業が求める人材像について理解できる。	
8	企業における研究開発 —特許で見る光ファイバーの開発—	企業における研究開発 (特許で見る光ファイバーの開発)について理解でき る。	
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
総 学 習 時 間 数			45 時間
講 義			30 時間
自学自習			15 時間